

東海大学新聞掲載記事 (2020.11.1号)

【海洋学部】“海を総合的に学べる学部”に評価

海洋立国推進功労者表彰を受賞

海洋学部がこのほど、内閣府や文部科学省などが実施する「第13回海洋立国推進功労者表彰」の「海洋立国日本の推進に関する特別な功績分野普及啓発・公益増進部門」で受賞団体に選出。10月21日に東京・霞が関の国土交通省で表彰式が開かれ、山田吉彦静岡キャンパス長と秋山信彦海洋学部長が出席した。海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)は、海洋に関する幅広い分野における普及啓発、学術・研究、産業振興などで顕著な功績を上げた個人・団体に贈られる。その功績を広く紹介することによって、国民の海洋に関する理解・関心を深める契機とするもの。

今年度は、「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野で同学部を含む2団体と2人「海洋に関する顕著な功績」分野で1団体と2人が選出されており、大学の学部が選出されるのは今回が初となる。式では、山田キャンパス長が代表者として登壇し、小此木八郎海洋政策担当大臣から表彰状と記念のメダルが授与された。

同学部は、「海を総合的に学べる日本で唯一の『海洋学部』」であることを評価されての受賞。1962年に国内で初めて総合的に海を学ぶ学部として創設されて以来、海事産業および海事教育を支える人材を多く輩出してきたことが功績として挙げられた。

山田キャンパス長は、「学園の創立者・松前重義博士が、海洋を開拓・活用することが平和への道だと考えられ、58年前に海洋学部が創設されました。今回の表彰はその理念が社会に認められたことを意味する大きな成果だと感じています」とコメント。秋山学部長は、「今年で開館50周年を迎えた海洋科学博物館も、海洋環境や海洋資源などの研究成果を展示する本学独自の施設。協定を結ぶ静岡市とも協力し、海洋思想の普及活動に力を入れています。将来の海洋学者を育成することも我々の使命だと考えているので、これからも継続していきたい」と語っている。

【湘南】教養学部生が大漁旗をデザイン

平塚市の魅力を詰め込み

教養学部芸術学科デザイン学課程3年の小野千晶さんがこのほど、平塚市をイメージした大漁旗をデザインした。

同市が、SDGs(国連が定める持続可能な開発目標)と最先端の科学・技術の視点で「まちづくり」を推進する「日本各地を繋ぐ大漁旗プロジェクト」(主催=科学自然都市協創連合)に参加するにあたり、包括協定を締結している東海大学に制作を依頼。同課程の池村明生教授が担当する授業「デザイン連携プロジェクト」の一環として協力し、同授業を履修する小野さんが担当した。

小野さんは平塚市からの提案をもとにデザインを構想。平塚漁港に設置されている平塚波力発電所や平塚沖総合実験タワーをメインに、湘南平や七夕まつりといった地域の魅力を詰め込んだ。

「波力発電は特殊なゴムを用いた波受板が特徴なので、手前に描いた波がその板にかかっているところがポイント。こうした施設や環境保全に関する取り組みはプロジェクトをきっかけに詳しく知ることができました」と振り返る。また、「イラストにすることで子どもの目にもつきやすくなったと思う。大漁旗を通じて平塚市の取り組みが全国の人に伝わるとうれしい」と話している。

大漁旗は日本沿岸を航行する船に掲げ各地域を巡った後、東京大学本郷キャンパスの安田講堂に展示される予定。

(裏面へ続く)

【熊本】オレンジカクテルナイトを開催

地域の宝をオンラインで紹介

経営学部観光ビジネス学科の小林寛子教授のゼミ生で結成しているサークル「エコツーリズム研究会」が10月17日に、熊本市・芳野地区の魅力を発信する「オレンジカクテルナイト～オンライン芳野ツアー2020～」を開催した。同ゼミでは地域特産のミカンなどを生かした観光資源調査やイベントの企画・運営を行っている。今回のイベントは、高齢化や過疎化が進む芳野地区の活性化に向けた交流人口の増加を目指し、2015年から毎年開催されているものだ。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、初めてオンラインでの実施となった。

学生たちは、新型コロナの影響で春学期の講義がすべて遠隔授業となったことから、6月にオンラインでのイベント開催を決定。ミーティングを重ね、イベントの見せ方や動画の配信方法などを検討してきた。

当日は、学内外から全体で約25人が参加。リーダーの重金優希さん(3年)らが熊本校舎で進行し、昨年度のメンバーが地域住民らと考案してきた同地区を巡る4つの宝探しウォークコースを紹介したほか、メンバーが今夏に撮影した動画も披露した。最後には現地から有明海に沈む夕日も中継された。

参加者からは「新型コロナの影響で学生さんたちに会えないのは寂しい。収束したらぜひ現地に来てもらいたい」といった声が聞かれた。重金さんは、「オンライン開催で参加者の方たちの顔を直接見られませんが、こちらの呼びかけにたくさん反応していただけてうれしかった。今後も、さまざまな地域と連携して、新型コロナ収束後に観光客が各地に戻ってくる状況を見据えた地域活性化案を考えていきたい」と話している。

東海カード提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国の店舗・施設でご利用いただけます。

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jp のドメイン) 詳細は以下 URL をご覧ください。
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお問い合わせいたします。

東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学事務部事務課(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp